

こども宅食事業への協力。

『こどもの貧困』は遠い国のことではなく、日本にもあるのです。

生活が厳しくて「友達と遊べない」「塾にいけない」「大学に進学できない」、こどもが夢を諦めてしまうこともあるかも知れません。

生活者の幸福、豊かな社会の実現をミッションに掲げるわが社では、こどもの貧困をなくすためのお手伝いをしたいという思いから、こども宅食事業に協力しています。

『こども宅食』は、文京区と5つの団体、複数の企業が協力して、生活が厳しいこどもの家庭に定期的に食品を届ける活動です。食品を届けるだけでなく、それをきっかけにそれらの家庭とつながりを作り、その家庭に必要なサポートをソーシャルワーカーと連携することで、食品以外の様々な支援に繋がっています。

わが社では、2017年10月の初回から食品を提供するパートナー企業として事業に関わっています。10月と12月は150世帯に紅茶を提供しました。紅茶を飲んで、少しでもほっとできる時間、くつろぐ気持ちになっていただけたらうれしいです。



今年2月はレーズンを提供しました。わが社が扱っているのは段ボール箱にレーズンが10Kg入った商品ですので各家庭に配るには小分け作業が必要です。そこで、文京区にある福祉施設「ふる里学舎本郷」と協働で作業をして小袋に入ったレーズンを提供することができました。



2月17日、文京シビックセンターで、集まった食品の仕分け作業にわが社の社員もボランティアで参加しました。受け取ったご家庭が喜んでくれる姿を思い描きながら、大勢のボランティアの皆さんと一緒に楽しく作業しました。

毎回食品をお届けした後に、対象のご家庭から感謝のうれしい言葉が送られてきます。提供した商品を、受け取った皆さんに喜んで頂けたことは、私たちにとっても「生活者の幸福」を実感できるうれしいことです。

エム・シー・フーズではこれからも「こども宅食事業」にパートナー企業として協力していきます。

(小澤)

「こども宅食」のホームページも是非ご覧ください。

<http://kodomo-takushoku.jp/about>